

重視すべき視点

既存ストックの
有効活用

公園緑地の
多様な使い方の
提供

質の高い
都市空間の形成

府市連携の強化

取組方針

① 既設公園緑地の官民連携

知識・ノウハウの
連携

➡府市がこれまで蓄積してきた技術的ノウハウと民間活力導入ノウハウを連携させ、公園緑地の整備・管理運営に最大限活用し、緑の環境を活かした様々な施設の導入やイベントの実施などにより、その収益等を還元しながら、安全・安心な公園緑地の更なる魅力向上につなげていく

② 公園緑地間や周辺施設等との連携強化

イベント情報発信
などのソフト連携

➡府域の多様な公園緑地の連携を強化するとともに、公園緑地に係わる各種活動団体・企業などとのプラットフォームの設置などにより、相互に協力した情報発信やイベントなどを実施し、生活の質を高める楽しみ方の選択肢を広げていく

③ まちづくりと一体となった新たな公園緑地整備

一体整備などの
ハード連携

➡都市や地域の顔となる公園緑地において、質の高い空間の維持・創出を促し、まちづくりの中での効果的な活用や景観形成の観点をもって、まちの活性化や魅力向上に資する公園緑地整備を推進する

R5年度の取組状況（取組方針① 既存公園緑地の官民連携）

様々な民活の取組を府市で共有し、既存公園緑地における新たな施設整備や公募開始するなど、指定管理者制度を含めた管理運営等にそのノウハウを活かし、公園の魅力向上に取り組んだ。

- 服部緑地・浜寺公園・二色の浜公園において、民間活用によるカフェ、遊具等の新たな施設を順次オープン



◆ 服部緑地（カフェ）



◆ 浜寺公園（テント膜遊具）



◆ 二色の浜公園（スケートボード）

- 久宝寺緑地のプール再整備に加え、公園全体の管理運営を一体としたPFI事業者の公募を府営公園で初めて実施



◆ 久宝寺緑地（現況プール）

- 大阪府の「後方支援活動拠点となる久宝寺緑地での防災訓練」や大阪市の「防災公園街区整備事業（うめきた公園）」を現地視察し、互いのノウハウを共有



◆ 久宝寺緑地（自衛隊との防災訓練）



◆ うめきた公園（現場視察）

R5年度の取組状況（取組方針 ② 公園緑地間や周辺施設等との連携強化）

都市公園制度制定150周年記念事業や府市の公園の回遊性を高める新たなプロジェクトを実施し、より多くの人に公園の魅力伝えるとともに、市町村と連携した府内全域でのブロック会議の実施により、民活や管理運営のノウハウの共有を図った。

- 150周年を迎えた住吉公園と浜寺公園において、大阪市、堺市及び高石市と連携し、都市公園制度制定150周年記念フォーラムやイベントなどを開催し、公園の歴史や魅力を幅広く周知



◆住吉公園「歴史探訪フォーラム」



◆浜寺公園「150年のあゆみフォーラム」



◆都市公園制度制定150周年記念 おおさか都市緑化フェア

- 府営公園と大阪市の大規模公園を対象とし、公園回遊や魅力発信を目的とした、スタンプラリーやフォトコンテストなど対外的に発信してもらうイベントを府市連携して初めて実施

- 府市及び堺市も参加する市町村意見交換会の開催（府内4ブロック）



◆スタンプ「みっけ」ラリー



◆「みっけ」フォトコンテスト



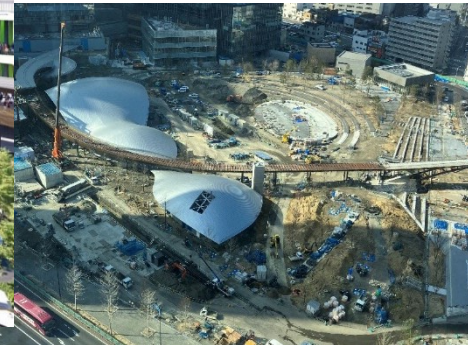
◆市町村意見交換会（ブロック会議）

魅力あるまちづくりの拠点となる公園緑地整備を着実に推進した。

- 新たなまちの中心となる「うめきた公園」の2024年夏の先行まちびらきに向けた着実な推進



◆ 完成予想パース
(出展：グラングリーン大阪開発事業者HPより)



◆ うめきた公園の施工状況
(令和6年1月撮影)

- 2025大阪・関西万博に向けた「難波の宮跡公園（北部ブロック）」整備の着実な推進

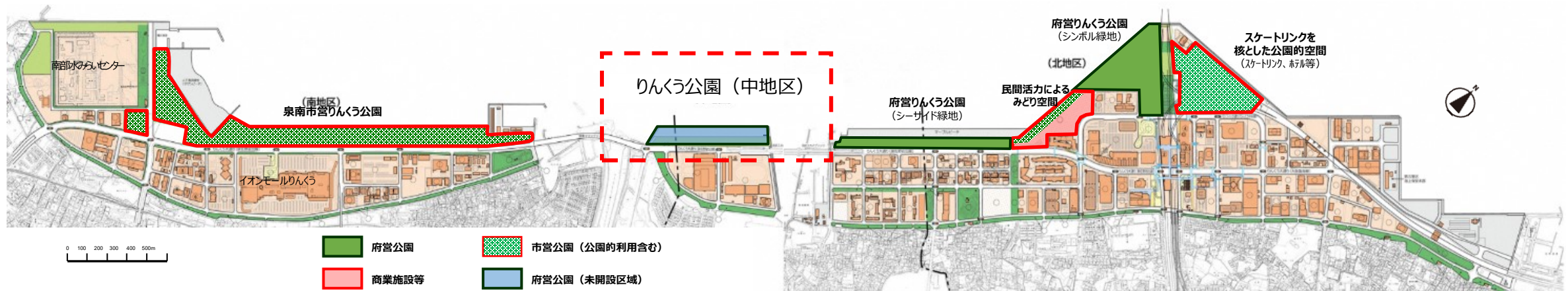


完成予想パース※

- ◆ P-PFI制度による難波宮跡公園の整備・活用
(北部ブロックのイメージパース)

※提案段階のものであり、今後の協議により変更となる場合があります。

- りんくう公園（中地区）における新たな民間活用（P-PFI事業）の公募を実施



◆ りんくう公園全体図